

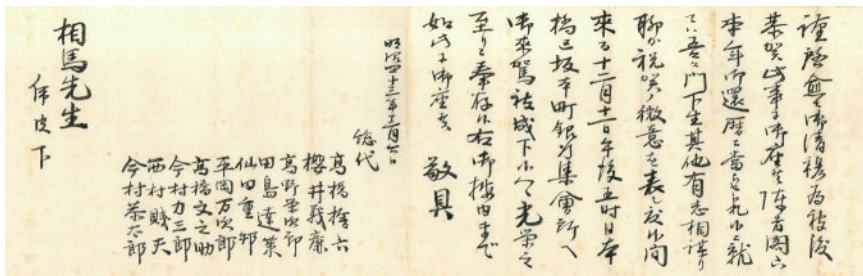
ミツウロコの創業者・田島達策



↑田島達策（『城山翁喜寿の賀』所収）



↑専修学校卒業記念、後列一番左が田島達策（『城山翁喜寿の賀』所収）



→相馬永胤還暦祝賀会招待状

ミツウロコという会社をご存じでしょうか。テレビアニメ「ちびまる子ちゃん」のなかで流れるCMで名前を聞いたことがある方も多いかと思います。そのミツウロコの創業者こそ、専修学校（専修大学の前身）法律科を明治16年（1883）に卒業した田島達策です。

明治19年、田島は現在の群馬県高崎市新町に運送店を開業します。これがミツウロコの始まりです。その後、ミツウロコの経営はもちろん、電力事業にも力を入れ、群馬電力副社長や東京電力社長まで務めるほど実業家として大成しました。

専修学校時代に話を戻すと、第3期生の田島は、相馬永胤^{そうまたがたね}、田尻稲次郎^{たじりいなじろう}、目賀田種太郎^{めがたねたろう}という創立者たちの薫陶を深く受けた人物でもありました。自身も晩年の自伝に「三先生より受けた恩誼は深く肝銘してゐる」と書き残しているほどですが、それには理由があります。入学は許されたものの、家が貧しく学資を捻出できなかった田島は創立者たちに窮状を訴えます。そこで創立者たちは、彼を宿直として

勤務させることで、授業料を免除したのです。

後顧の憂いをなくし、勉学に励む学生生活を送った田島は卒業後も、その恩誼に報いるべく、専修大学と深い繋がりを持ち続けます。専修大学が明治40年、社団法人を設立した際、社会的に成功していた卒業生の一人として社員に選ばれ、学校経営に参画、また、関東大震災で甚大な被害を受けた際も校友代表として復興に奔走しました。官立と違い、財政基盤の弱い私立学校にとって校友の存在は非常に大きいものでした。田島は明治末から昭和初期にかけて専修大学を物心両面から支えた校友の一人と言えるでしょう。

現在、専修大学男子バスケットボール部のユニフォームにはミツウロコのロゴマークが入っています。これは同部とミツウロコグリーンエネルギー株式会社^{ミツウロコグリーンエネルギー株式会社}が2022年にオフィシャルパートナー契約を締結したからです。田島が創業したミツウロコと専修大学の縁は今なお続いているのです。

（大学史資料室）